

私は、学校を卒業した後、「誰かの役に立ちたい」「自分を必要とされたい」との思いから社会福祉の道に進みました。

介護保険施設では、ご家族より利用者様をお預かりしているので、今までも感染症には留意しておりますが、今回の「新型コロナウイルス感染症」の流行は、まだわからないことも多く、何より恐ろしいのは、無症状の罹患者がいるということです。また、感染の恐怖よりも私自身が今、悩ましいと思うのは、ご家族やご友人との交流です。施設を利用してくださっている方は、介護を必要としており、持病をお持ちの方がほとんどです。元気に見える方であっても急に体調に異変が起きお亡くなりになる方もおられます。

世の中が命を守ることと経済を回すことのアクセル、ブレーキがよく議論されていますが、私にとってはどちらが是か非というだけでなく、「折り合い」をつけ「ご本人にとっての『最善の利益』」がどのあたりか考え続ける日々です。



**黒田 真樹**  
(旧姓: 森田)  
(高[茨木]34期)

vol.001 介護保険施設 管理者

私は現在、病院の薬剤師として働いており、マスクとゴーグル姿で毎日を送っています。

第一波の頃は、とにかくクラスターは絶対に避けなければいけないと、かなりの緊張感でした。毎週定期的にコロナの会議が設定され、状況の確認をしながら規制レベルを確認し、それに応じた対策、ルール改正などを話し合うようになりました。

先日、第三波が押し寄せる中、逼迫状態を迎えて今後、受け入れの可能性があるという説明がありました。既にコロナの患者さんに対応している病院スタッフの大変さを想えばこそ、皆、静かに覚悟しています。追手門での学生生活は、今となっては壮大な映画のように見え、その数々の場面や言葉が、時折、私を救ってくれ、誇らしいような気持ち、安心するような気持ちが今も心に流れています。誰も知らない、特別な

いいものをこっそり持っていて、おかげで、妙に胸を張れたりする・・・そんな感じがしていて、ありがたいばかりです。



**足達 真理子**  
(旧姓: 北川)  
(高[茨木]34期)

vol.002 薬剤師

私は消化器内科医として研鑽後、大学院での研究を経て2004年より尼崎市北部で叔父の医院を継承、内科を中心に地域のホームドクターとして地域医療の一翼を担っています。

通院される方に対し、入口へ看護師を配置し受診時全員の方へのマスク着用(お持ちでない方への提供)アルコール消毒、検温のお願いで安心して通院頂く対応やその時点での正しい知識、感染予防の説明も大きな役割だったと考えています。

第一波後、冬に向けての衛生用品などの備蓄や非接触型体温計、オゾン空気清浄機の購入、感染者用仮設診察室の設置などの対策を行いました。

特に大変だったのは夏の往診での発熱者対応で、アイゴーグル(花粉症用メガネで代用)N-95マスク、ガウン、手袋着用での診察は暑さという難敵が加わり、汗ダクで痩せる思いでした。ここ尼崎を含めた阪神間も病床逼迫状態で、いかに感染を回避するかも大切ではないかと思っており、来るべき感染終息まで地域の方と共に全力で走り抜きたいと思います。



**大隈 義道**

(中[茨木]14期・高[茨木]34期)

vol.005 内科医

その他のお寄せいただいた記事

<https://yamazakurakai.com/archives/category/column/topics/ob/with-corona>



- vol.006 矢倉 鈴奈 (小112期、大中55期) ..... 法人代表
- vol.007 梶山 裕嗣 (茨高34期) ..... 住宅建設
- vol.008 木村 裕美 (旧姓 佐々木) (茨高34期) ..... 幼稚園教諭
- vol.009 中村 賢司 (茨高36期、大[済・済]23期) ..... ファイナンシャルプランナー
- vol.010 二階堂 遥菜 (小118期) ..... イベント企画
- vol.011 山下 雅己 (高[茨木]36期) ..... 飲食店経営
- vol.012 辻 直美 (高[茨木]36期) ..... レスキューナース
- vol.013 松下 智浩 (高[茨木]32期) ..... 銀行勤務
- vol.014 鷺見 慎一 (小104期・大中47期・大高47期) ..... 不動産会社経営
- vol.016 田井 浩司 (高[茨木]34期、追大文・心22期) ..... ミュージシャン
- vol.017 岸田 祐和 (高[茨木]34期) ..... 大学職員
- vol.018 和田 晶三 (高[茨木]34期) ..... 歯科医師